

産学官連携で地域産業を育成！

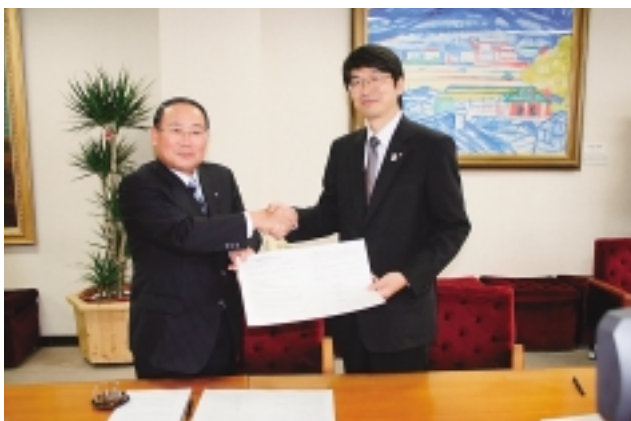
● 長崎市との連携協定締結

2008年5月30日、ふくおかフィナンシャルグループ、福岡銀行および親和銀行は、長崎市と「産業振興分野での連携に関する基本協定書」の締結を行いました。本協定の目的は、FFGと長崎市の両者が持つ「情報」「ネットワーク」「ノウハウ」「拠点」「人材」等の経営資源を有効活用し、長崎市域の産業振興に貢献することです。

連携内容は、①長崎市域企業と福岡、熊本を中心とした九州やアジア等の企業とのビジネスマッチング②長崎市内への企業誘致③長崎市域企業のアジアビジネス支援④FFGが連携する大学が持つシーズの事業化などの産学連携支援の4つです。

当日は、長崎市役所において、田上市長（長崎市）と鬼木頭取（親和銀行）による調印式が開催されました。調印式では、鬼木頭取が「県下最大の都市である長崎市との連携は、FFGにとっても新しいビジネスチャンスを生み出すものであり、地域貢献にも繋がる取組。今回の連携協定を機に、ますます強靱な連携関係を築いていきたい」と挨拶し、田上市長から「長崎市域の産業活性化のために、多くの経営資源を有する金融機関と連携し、事業展開ができることを大変心強く感じている」とのメッセージをいただきました。

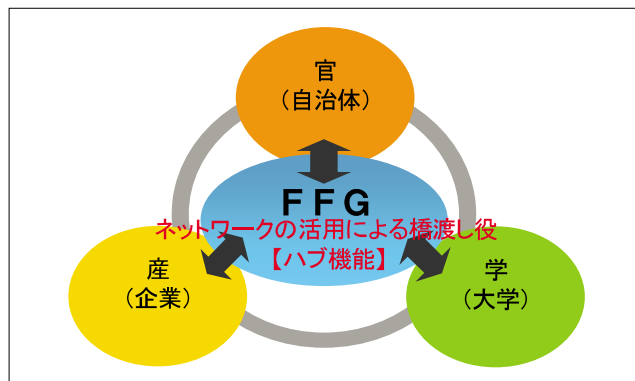
まずは連携事業の第一弾として、本年度、長崎市産業情報支援センターが行なう「食品加工業者を対象とした企業動向調査（調査対象140社程度）」に基づき、長崎市域外へのビジネス展開を検討している企業に対するビジネスマッチング（顧客紹介等）をFFGのネットワークを活用して取組む予定です。



長崎市との連携協定調印式の模様（5月30日）
鬼木頭取（写真左）、田上市長（写真右）

● 産学官連携の目的

FFGは、これまでも地域の自治体や大学との連携を進めてきました。自治体や大学にとっても“地域社会の活性化、産業振興への貢献”は、組織として重要な使命であり、目指す方向は、多くの部分でFFGと一致しています。そこで各々が持つ経営資源を有効活用し、地域企業に対して幅広く多様な支援を行なうことで経済や産業の発展に貢献したいと考えています。こうした取組により、金融機関の枠組みを超え、地域経済への新しいサービス提供が可能になると考えています。将来的には、九州内での産業情報やネットワークの拠点化（ハブ機能）を目指しています。



これまでの取組としては、今年1月、FFG初の自治体との連携協定を北九州市と締結しました。ものづくり企業が集積する北九州で、金融と行政の強みを融合させることで、効果的な地域産業育成に取り組んでいます。

大学との連携では、「技術的課題や技術開発ニーズを持つ地域企業に対するソリューションの提供」や「有望な技術や特許など大学シーズの事業化」を進めています。

今後、次々に連携成果をご紹介しますよう努力してまいります。皆様、是非これまで以上にFFGをご活用ください。（今泉 節）

FFGの協定締結先（カッコは協定締結者）

H17年7月	熊本大（熊本ファミリー）
H18年1月	崇城大（熊本ファミリー）
H18年7月	佐世保高専（親和）
H18年9月	九州東海大（熊本ファミリー）
H19年2月	九州大（福岡）
H20年1月	福岡大（福岡）
	北九州市（福岡、FFG）
H20年4月	九州大（FFGを加え連携範囲を拡大）
	熊本大（福岡、FFGを加え連携範囲を拡大）
	長崎大（親和、福岡、FFG）
H20年5月	福岡工業大（福岡、FFG）
	長崎市（親和、福岡、FFG）